

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	04	8516	畜産基盤強化対策事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	3	生産基盤の整備			
目的	畜産農家の生産基盤を強化する					
対象	市内畜産農家					
意図	畜産農家が行う飼養管理施設整備・低コスト生産機械導入及び電気牧柵設置へ一部補助を行い、生産基盤強化の環境を作る。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○簡易畜舎、畜舎の付帯設備に関連する新築並びに増築及び低コスト生産機械の導入に対する補助。 補助率：対象経費の1/5（上限200千円/件）						
○電気牧柵を設置する経費に対する補助。 補助率：電気牧柵設置経費の1/2（上限70千円）						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 ○補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 簡易畜舎及び付帯施設整備	棟		計画		2	
			実績		4	
② 低コスト機械整備	台		計画		4	
			実績		8	
③ 電気牧柵設置	箇所		計画		3	
			実績		5	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 簡易畜舎及び付帯施設整備	棟		目標		2	
			実績		4	
② 低コスト機械整備	台		目標		4	
			実績		8	
③ 電気牧柵設置	箇所		目標		3	
			実績		5	
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
畜産関係の施設・機械整備については、現在、国や県の補助金制度があるが、対象が大規模農家や団体に対する補助制度となっている。また、国や県の補助金制度に要望しても全て採択されず、何年後に補助制度を利用し整備できるか不透明なため、当事業を活用し畜産経営の維持拡大を図る経営体が予想より多かった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	花巻市の基幹産業である農業の一つである畜産の生産基盤を強化するため。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	整備に対し一部補助する事により農家での負担が減り整備しやすい環境となるため。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	畜産農家の生産性向上及び経営安定に繋がるため、削減できない。
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある	
	○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内畜産農家を対象とするため公平である。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
畜産農家の減少が続くなか、飼養管理に必要な施設整備や機械導入に対する補助事業は、持続的な畜産経営に有効なため当事業を継続していく。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 小原慶悦 内線 6-290

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	04	8516	畜産基盤強化対策事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			1,346		1,346
財源内訳	国・県		1,229		1,229
	地方債				
	その他				
	一般財源		117		117

事業期間 単年度繰返 ○ 期間限定 [平成 27 年度 ~ 平成 29 年度]

部重点施策における目標  
農業の生産性を高めるとともに作業効率の向上を進める。

事業開始の背景・経緯

畜産関係の施設・機械整備については、現在、国や県の補助金制度があるが、対象が大規模農家又は、団体に対する補助制度となっている。上記制度に要望しても全て採択されずいつ整備できるか不透明であり、上記補助制度を補充する制度が求められている。また、現在、購入飼料価格が高騰しており、電気牧柵を設置し放牧する事により農家の負担が軽減される。

事業概要

○簡易畜舎、畜舎の付帯設備に関連する新築並びに増築及び低コスト生産機械の導入に対する補助。

補助率：対象経費の1/5（上限200千円/件）

○電気牧柵を設置する経費に対する補助。

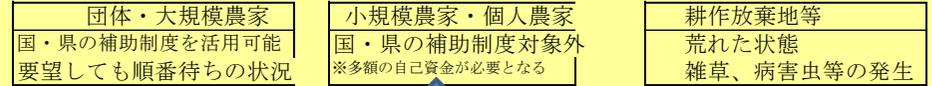
補助率：電気牧柵設置経費の1/2（上限70千円）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

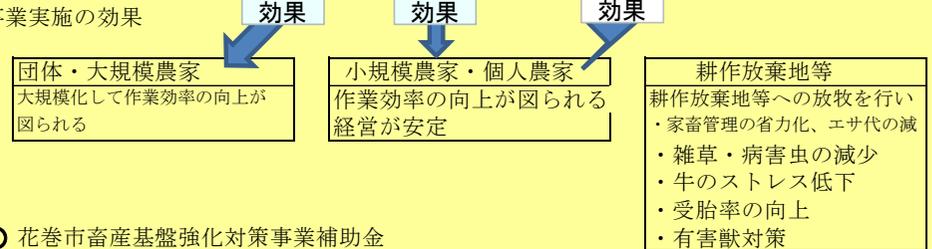
施設・機械整備の一部を補助するものであるが対象経費の1/5（上限200千円）としている為、整備が高額となる場合の各農家負担が大きくなる。  
電気牧柵を設置、放牧に対し、農家への周知や理解の向上が必要である。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

現状



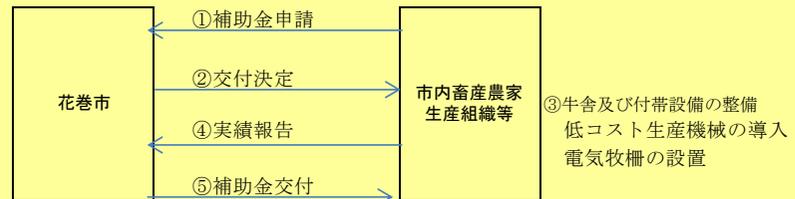
事業実施の効果



○ 花巻市畜産基盤強化対策事業補助金

- 対象：①市内畜産農家が整備する簡易畜舎及び畜舎の付帯設備に関連する新築並びに増築  
②低コスト生産機械の導入（現在よりも生産性が上がる機械に限る）  
③電気牧柵設置（耕作放棄地等へ電気牧柵を設置し放牧する）

- 補助率：①対象経費の1/5（上限200千円）  
②対象経費の1/5（上限200千円）  
③設置費の1/2（上限70千円）



実績内容

①畜舎等施設 4件	172,232円
②生産機械 8件	976,903円
③電気牧柵 5件	196,412円
合計	1,345,547円